

2021年3月期第2四半期 決算説明会

代表取締役社長
森 拓也

2020年11月27日



株式会社ピーエス三菱

目次

1. 2021年3月期第2四半期 決算概要	P. 2
2. 2021年3月期 業績予想	P. 14
3. 中期経営計画2019の進捗	P. 18
Appendix 会社概要	P. 24

1. 2021年3月期第2四半期 決算概要

2

2021年3月期第2四半期 トピックス

建設業界はコロナ禍により民需減少、先行きは不透明ながらも防災・減災、国土強靱化対策は継続

- 2020年度建設投資額の見通しは、前年度比3.4%減の63兆1,600億円の見通し
 - 政府投資が25兆6,200億円（前年度比3.1%増）、民間投資が37兆5,400億円（前年度比7.3%減）
 - 民間企業設備投資は、民間非住宅建築投資（10.58兆円）は前年度比9.5%減少、民間土木投資（5.67兆円）は2.6%減少見通し
- 2020年度上期建設工事受注動態統計調査報告（国交省）では、受注高は38兆2550億円（前年同期比5.0%減）となった
 - 新型コロナウイルス感染症の影響で民間工事の受注減が鮮明化するも国土強靱化対策関係の工事が民間工事の落ち込みを下支え

売上高は前年同期実績を上回り、各利益項目は期初計画比大きく改善

- 売上高は、土木事業は順調な工事進捗により増加、建築事業は繰越高の増加等により増加、全体では前年比で8.6%（41億円）増加
- 売上利益は、工事完成に伴う設計変更獲得及び原価改善、建築案件の工事採算の向上等により全体で3.5ポイント改善
 - 土木事業の利益率は期初計画よりも3.5ポイント上昇し14.9%、建築事業では利益率は10.2%と1.5ポイント改善
- 各利益項目が期初計画比で大きく改善し、四半期純利益が18億44百万円と期初計画より約13億円増加

After/Withコロナへの取り組み

- 建設現場は感染症の拡大の懸念があるもののコロナ禍でも感染防止に努めつつ事業活動を継続
 - 感染予防対策ガイドライン（日建連）のもと作業所ガイドラインを策定し、新しい生活様式を踏まえ感染予防の徹底
 - 建設現場は、ソーシャルディスタンスの確保等の取組みにより感染症対策を実施して事業を継続
- 「働き方の新しいスタイル」を検討することを目的として、働き方改革実行委員会の傘下に検討チームを組成
 - テレワーク、Web会議等による業務が急速に浸透し、間接部門の従来からの働き方が大きく変化



ソーシャルディスタンスを確保して
朝礼時の体操

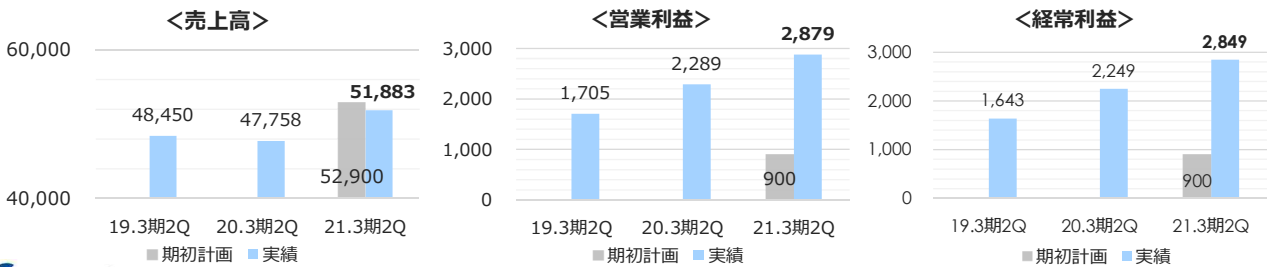
3

業績サマリー

連結業績サマリー

(単位：百万円、%)

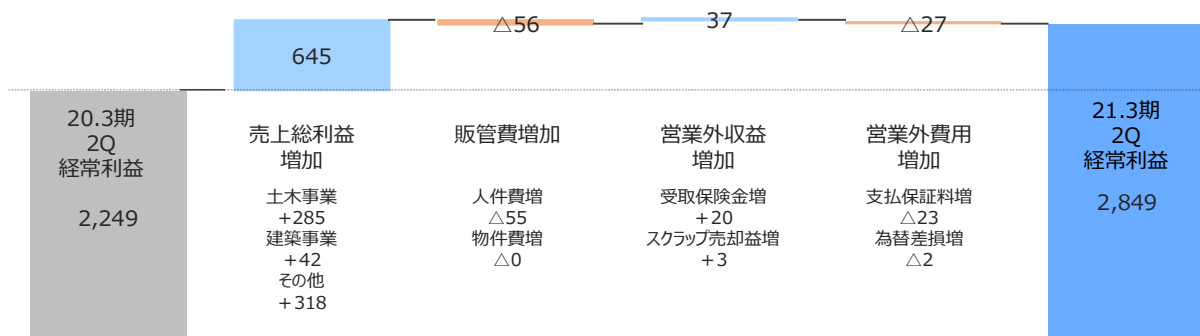
	19.3期第2四半期		20.3期第2四半期		21.3期第2四半期			コメント
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	期初計画比	
売上高	48,450	△10.3	47,758	△1.4	51,883	8.6	△1.9	手持工事の進捗が計画より減少
売上総利益	6,246	△4.1	6,587	5.5	7,233	9.8	31.5	設計変更獲得、原価改善の取組み等により計画対比増益
営業利益	1,705	△29.9	2,289	34.2	2,879	25.8	219.9	売上利益の増加、販管費削減により計画対比増益
経常利益	1,643	△31.7	2,249	36.9	2,849	26.7	216.6	営業利益増益により計画対比増益
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,149	△41.0	1,470	28.0	1,844	25.4	268.8	経常利益増益による計画対比増益
1株当たり年間配当金（円）	20.0		20.0		20.0			



利益増減分析（前年同期比）

経常利益増減分析

(単位：百万円)



- 売上総利益は前年比6億45百万円増加し、利益率が13.8%から13.9%に向上
 - 土木事業は、前年同期より売上高の増加に伴い売上総利益は増加、利益率は16.1%から14.9%と1.2%減少するも高水準を維持
 - 建築事業は、前期からの繰越工事の増加、工事採算（10.0%から10.2%）の改善により売上総利益は増加
- 販管費が前年比56百万円増加
 - 人財確保を目的とした従業員の処遇改善等により人件費が増加
 - コロナ禍により旅費交通費、交際費等が減少するも、テレワーク用web会議システム導入、一括債権増加による貸倒引当金繰入増等により物件費は同程度
- 営業外収益が前年比37百万円増加
 - 主に受取保険金の収入等により増加
- 営業外費用が前年比27百万円増加
 - 主に受注増に伴う支払保証料の増加

利益増減分析（期初計画比）

経常利益増減分析

（単位：百万円）

【期初計画】 21.3期 2Q 経常利益	1,733	245	17	△47	【実績】 21.3期 2Q 経常利益
900	売上総利益 増加	販管費減少	営業外収益 増加	営業外費用 増加	2,849
	土木事業 +1,142 建築事業 +200 その他 +390	人件費減 +31 物件費減 +214	受取保険金増 +20 不動産賃料収入減 △4	持分法投資損失増 △9 支払保証料増 △22	

- 売上総利益は期初計画比17億33百万円増加、売上総利益率が10.4%から13.9%に上昇
 - 土木事業は、工事完成に伴う設計変更獲得及び原価改善により売上総利益が11億42百万円増加、利益率が11.4%から14.9%に上昇
 - 建築事業は、工事採算の改善等により、売上総利益が2億円増加、利益率が8.7%から10.2%に上昇
- 販管費が期初計画比2億45百万円減少
 - 人件費の減少、コロナ禍による旅費交通費及び交際費等の減少、IT費用の期ずれ等により物件費の減少
- 営業外収益が期初計画比17百万円増加
 - 主に受取保険金の収入等により増加
- 営業外費用が期初計画比47百万円増加
 - 主に受注増による支払保証料22百万円増加

セグメント別業績

セグメント別売上高・売上総利益・受注高

（単位：百万円、%）

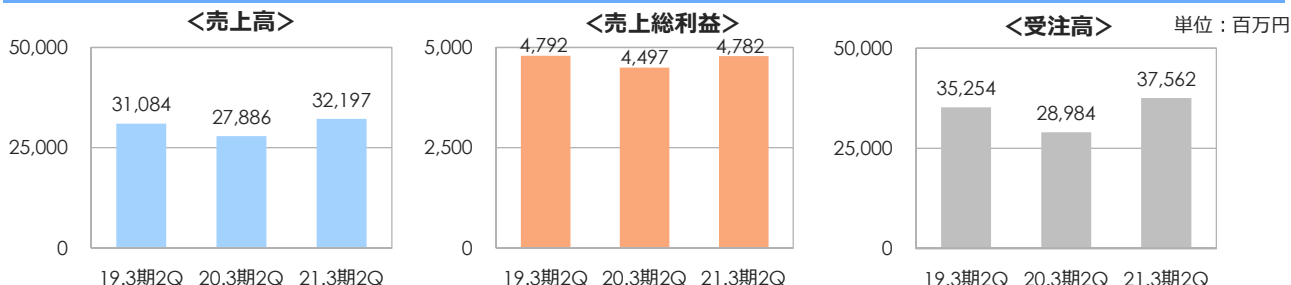
	19.3期2Q		20.3期2Q		21.3期2Q		コメント
	実績		実績		実績	前年比	
売上高	土木事業	31,084	27,886	32,197	15.5		
	建築事業	16,523	18,565	18,590	0.1	・土木事業は、繰越高の増加、計画を上回る工事進捗により増加	
	製造事業	523	909	731	△19.6		
	その他兼業事業	318	397	363	△8.5	・製造事業は、海外関係会社の受注減による減少	
	合計	48,450	47,758	51,883	8.6		
売上総利益	土木事業	4,792	4,497	4,782	6.3		
	建築事業	1,208	1,858	1,900	2.3	・土木事業の売上総利益は、工事完成による設計変更獲得・原価改善等により増加	
	製造事業	26	42	475	1,029.5		
	その他兼業事業	150	171	165	△3.2	・建築事業の売上総利益は、工事採算の好転により増加	
	調整額	68	18	△90	-		
	合計	6,246	6,587	7,233	9.8	・製造事業の売上総利益は、発注単価見直し等により増加	
受注高	土木事業	35,254	28,984	37,562	29.6	・土木事業は、設計変更獲得、大型案件の獲得等により増加	
	建築事業	17,270	12,167	17,499	43.8		
	製造事業	523	909	731	△19.6	・建築事業は、前期実績を上回る受注獲得により増加	
	その他兼業事業	318	410	363	△11.3		
	合計	53,366	42,471	56,157	32.2	・製造事業は、海外関係会社の受注減等により減少	

土木事業

業界環境

- 2020年度公共事業関係費は、「臨時・特別の措置」を含め、5兆9,368億円と前年比13%増
 - インフラ老化対策や、豪雨・台風災害等を踏まえた防災・減災対策などへの重点化が推進
- PC土木市場は、約3,000億円規模が当面継続の予測
 - 新設橋梁は高速道路の4車線化が発注されているが全体的には縮小傾向、一方で維持補修事業は拡大基調

業績推移



- 工事完成に伴う設計変更獲得、また原価改善等を主因として売上総利益が前年より増加
- 受注高は、床版取替工事等の順調な受注獲得等により前年を大きく上回る

大型受注案件（受注金額上位3件）

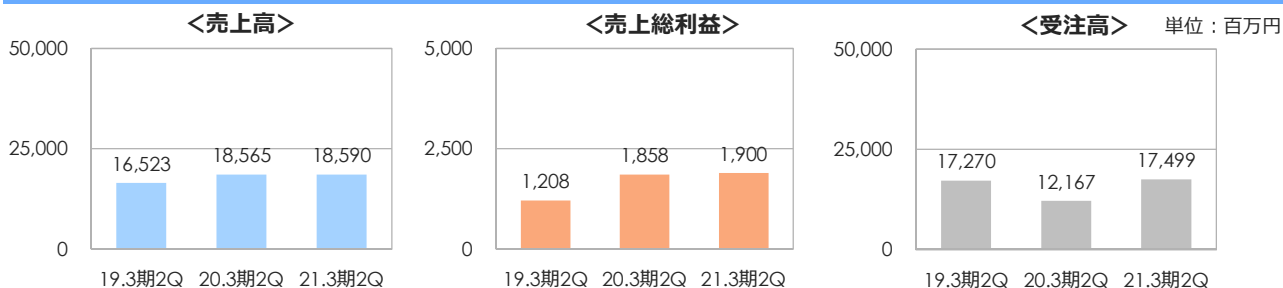
工事名	工事概要
上萩原橋他8橋床版取替工事	中国自動車道戸河内IC - 吉和IC間の大規模更新事業、床版数 332枚（当社分 3社JV）
吹田JCT~池田IC間橋梁更新工事	中国自動車道吹田JCT - 池田IC間の主桁（鋼）および床版取替工事（5社JV）
四十八瀬川橋他1橋床版取替工事	中国自動車道小郡IC - 美祇IC間に位置する四十八瀬川他1橋床版取替工事 床版数 約150枚

建築事業

業界環境

- コロナ禍により発注者の投資計画の中止や延期等により民間工事発注量が減少
 - 発注者別では、製造業前年比35.2%減をはじめ、軒並み減少
- 引き続き受注競争の激化
 - 民間工事発注の減少に伴い、各社受注量の確保に向け公共機関の案件についても競争激化の傾向

業績推移



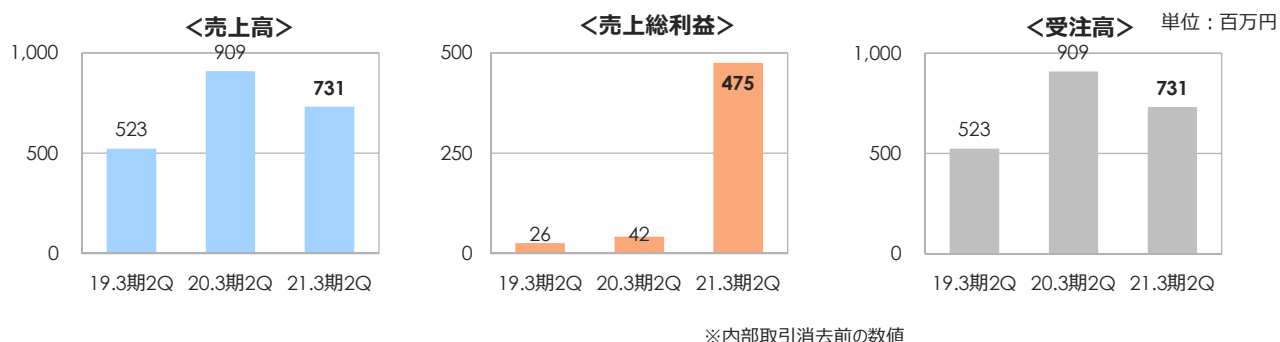
- 依然として他社との競争激化が続いているが、採算最重視の受注施策が奏功し売上高及び売上総利益は改善
- 受注高は、コロナ禍により発注者の投資計画の中止や延期等があるも、期ずれ案件の確実な取り込みにより前年同期比で増加

大型受注案件（受注金額上位3件）

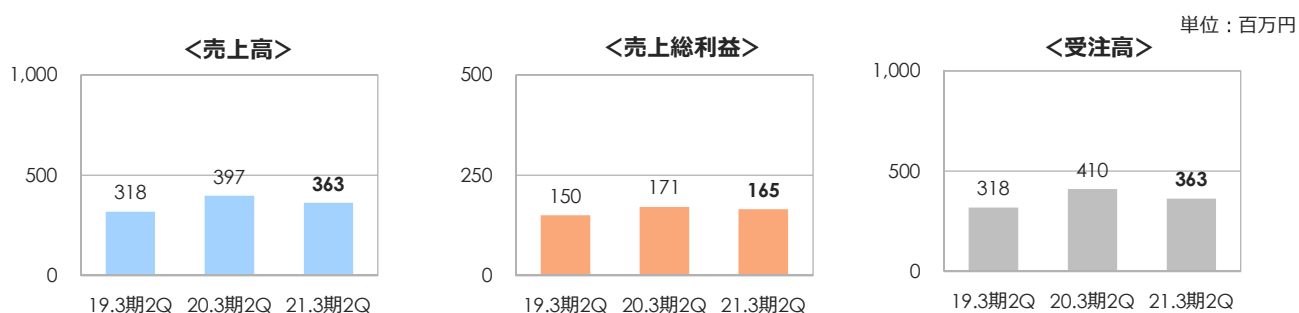
工事名	工事概要
某所コンドラ格納庫・駅舎等建設工事	S造 地下1F 地上1F 建築面積611.6㎡ 延床面積673.38㎡
某電子機器メーカー本社建替工事	S造 延床面積3285.95㎡
某幼稚園新築工事	RC造 地上2F 建築面積1243.52㎡ 延床面積2099.51㎡

製造事業及びその他兼業事業

製造事業 - 業績推移



その他兼業事業 - 業績推移



貸借対照表

連結貸借対照表の主な項目

(単位: 百万円)

	19.3期 実績	20.3期 実績	20.3期2Q 実績	コメント
資産合計	90,196	88,282	89,405	
流動資産	69,796	67,860	68,981	・買掛債務の支払、借入金の返済等により現金預金が6,991百万円減少
現金預金	14,802	15,484	8,493	・工事進捗により、受取手形・完成工事未収入金等が4,921百万円、電子記録債権が89百万円それぞれ増加
受取手形・完成工事未収入金等	47,560	44,090	49,101	
固定資産	20,400	20,421	20,424	
有形固定資産	13,394	13,813	13,822	・建物及び工事用機械等の購入により有形固定資産が9百万円増加
無形固定資産	176	156	146	・株価高騰による投資有価証券の増加、繰延税金資産の取り崩し等により投資その他の資産が3百万円増加
投資その他の資産	6,828	6,451	6,454	
負債合計	54,755	51,549	51,472	
流動負債	44,143	44,376	44,239	・買掛債務の支払により、支払手形・工事未払金等が376百万円減少、電子記録債務が1,476百万円増加
固定負債	10,611	7,172	7,233	・借入金の返済により短期借入金が3,898百万円減少
純資産合計	35,411	36,732	37,933	
株主資本	33,402	34,831	35,782	・四半期純利益1,844百万円を計上、配当金947百万円を支出
その他包括利益累計額	2,038	1,901	2,150	・株価高騰によりその他有価証券評価差額金225百万円の増加
負債純資産合計	90,196	88,282	89,405	

キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フローの主な項目

(単位：百万円)

	19.3期2Q	20.3期2Q	21.3期2Q	
	実績	実績	実績	コメント
営業活動によるキャッシュ・フロー	△853	3,900	△1,726	
税金等調整前四半期純利益	1,662	2,233	2,805	
減価償却費	353	321	345	
退職給付に係る資産の増減	39	79	53	
退職給付に係る負債の増減	121	105	110	・営業収益の積上げ
工事損失引当金増減	△757	11	17	・工事竣工による売上債権の増加
売上債権の増減	3,721	10,121	△5,029	・工事進捗によるたな卸資産の増加
たな卸資産の増減	△361	△1,029	△3,442	・工事代金入金による未成工事受入金の増加
仕入債務の増減	△3,699	△2,193	1,106	
未成工事受入金の増減	123	756	1,465	
その他営業活動フロー	△1,125	△4,634	1,147	
法人税等支払額	△933	△1,872	△305	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534	△1,342	△392	
有形固定資産取得	△475	△1,337	△419	・有形固定資産取得に係る支払
その他投資活動フロー	△58	△5	26	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,091	△7,707	△4,870	
短期借入金純増減	△3,069	△5,867	△3,890	
リース債務返済による支出	△39	△21	△23	・短期借入金の返済
自己株式の取得による支出	△0	△295	△0	・配当金の支払
配当金支払額	△853	△1,516	△947	
その他財務活動フロー	△129	△5	△8	
現金及び現金同等物期末残高	6,958	9,652	8,493	

MEMO

2. 2021年3月期 業績予想

14

業績予想

連結業績予想

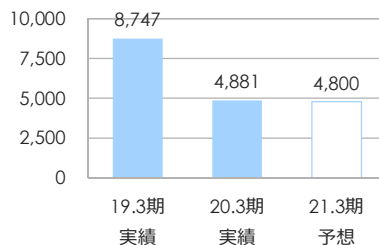
(単位：百万円、%)

	19.3期		20.3期		21.3期予想				コメント
	実績	前年比	実績	前年比	期初計画	業績予想	計画比	前年比	
売上高	110,279	△4.0	105,744	△4.1	116,000	114,000	△1.7	7.8	【計画比】建築事業の減収
売上総利益	18,059	30.7	14,377	△20.4	13,600	14,100	3.7	△1.9	【計画比】建築事業の減収による減益があるも、土木事業の増益により増加
営業利益	8,747	60.8	4,881	△44.2	4,200	4,800	14.3	△1.7	【計画比】売上総利益の増加
経常利益	8,789	64.4	4,897	△44.3	4,150	4,550	9.6	△7.1	【計画比】営業利益の増加 ※10/23業績修正で見込んだ海外持分法適用会社の減損損失を取りやめ
親会社株主に帰属する当期純利益	7,918	106.0	3,214	△59.4	2,800	2,800	-	△12.9	【計画比】期首計画と同額
1株当たり年間配当金(円)	32.0		20.0			20.0			

<売上高>



<営業利益>



<経常利益>



セグメント別業績予想

セグメント別売上高・売上総利益・受注高

(単位：百万円、%)

	19.3期	20.3期	21.3期予想				コメント	
	実績	実績	期初計画	業績予想	計画比	前年比		
売上高	土木事業	67,489	63,637	67,700	71,600	5.8	12.5	【計画比】 ・土木事業は、当期受注高の増加を見込み増収 ・建築事業は、新型コロナ影響を考慮し、当期受注高の減少を見込み減収
	建築事業	40,592	39,431	45,700	40,000	△12.5	1.4	
	製造事業	1,551	1,875	1,700	1,600	△5.9	△14.7	
	その他兼業事業	644	799	900	800	△11.1	0.0	
	合計	110,279	105,744	116,000	114,000	△1.7	9.7	
売上総利益	土木事業	14,118	9,527	9,000	10,400	16.7	9.2	【計画比】 ・土木事業は、工事竣工に伴う設計変更獲得による工事採算の改善を見込む ・建築事業は、前期からの繰越工事増加があるものの、減収による売上総利益減
	建築事業	3,298	3,994	4,300	3,500	△18.6	△12.4	
	製造事業	207	416	100	100	-	△76.0	
	その他兼業事業	304	341	200	100	△50.0	△70.7	
	調整額	131	97	-	-	-	-	
合計	18,059	14,377	13,600	14,100	4.4	△1.9		
受注高	土木事業	85,066	73,004	70,900	72,700	2.5	△0.4	【計画比】 ・土木事業は、業界環境は引き続き好況であり、確実に受注獲得を目指す ・建築事業は、受注強化策としてエリア展開により案件確保を図るも、新型コロナ影響により減少を見込む
	建築事業	46,188	41,311	49,500	40,000	△19.2	△3.2	
	製造事業	1,551	1,875	1,700	1,500	△11.8	△20.0	
	その他兼業事業	644	812	900	800	△11.1	△1.6	
	合計	133,451	117,003	123,000	115,000	△6.5	△1.7	

MEMO

3. 中期経営計画2019の進捗

18

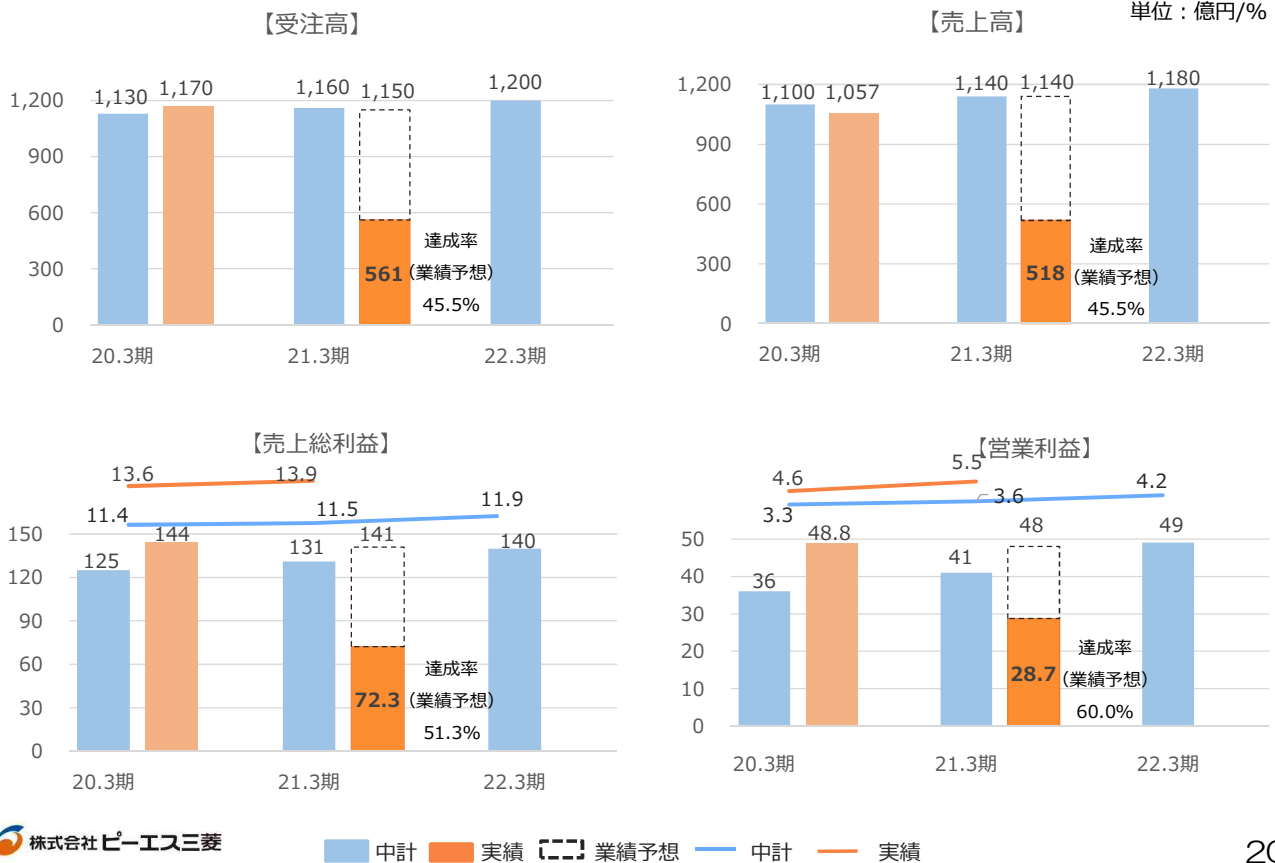
中期経営計画2019の進捗

数値目標と進捗

(単位：百万円)

		20.3期中計目標		20.3期実績		20.3期実績 - 中計目標		21.3期中計目標		21.3期業績予想		21.3期業績予想 - 中計目標		22.3期中計目標	
受注	土木事業	62,800	73,004	10,204	64,900	72,700	7,800	68,200							
	建築事業	48,000	41,311	△6,688	48,500	40,000	△8,500	49,000							
	製造事業	1,500	1,875	375	1,900	1,500	△400	2,000							
	兼業事業	700	812	112	700	800	100	800							
	合計	113,000	117,003	4,003	116,000	115,000	△1,000	120,000							
売上高	土木事業	62,600	63,637	837	63,600	71,600	8,000	66,800							
	建築事業	45,000	39,431	△5,568	47,900	40,000	△7,900	48,500							
	製造事業	1,700	1,875	375	1,800	1,600	△200	1,900							
	兼業事業	700	799	99	700	800	100	800							
	合計	110,000	105,744	△4,255	114,000	114,000	-	118,000							
売上総利益	土木事業	13.1%	8,200	15.6%	9,938	1,738	13.4%	8,500	14.5%	10,400	1,900	13.5%	9,030		
	建築事業	9.1%	4,100	9.9%	3,916	△184	9.1%	4,340	8.8%	3,500	△840	9.6%	4,680		
	製造事業	5.9%	100	11.3%	211	111	8.9%	160	6.3%	100	△60	9.5%	180		
	兼業事業	14.3%	100	39.0%	311	211	14.3%	100	12.5%	100	-	13.8%	110		
	合計	11.4%	12,500	13.6%	14,377	1,877	11.5%	13,100	12.4%	14,100	1,000	11.9%	14,000		
販売費及び一般管理費	8.1%	8,900	9.0%	9,496	596	7.9%	9,000	8.2%	9,300	300	7.7%	9,100			
営業利益	3.3%	3,600	4.6%	4,881	1,281	3.6%	4,100	4.2%	4,800	700	4.2%	4,900			
経常利益	3.2%	3,500	4.6%	4,897	1,397	3.6%	4,100	4.0%	4,550	450	4.1%	4,800			
当期純利益	2.0%	2,200	3.0%	3,214	1,014	2.5%	2,800	2.5%	2,800	0	2.9%	3,400			

中期経営計画2019の進捗

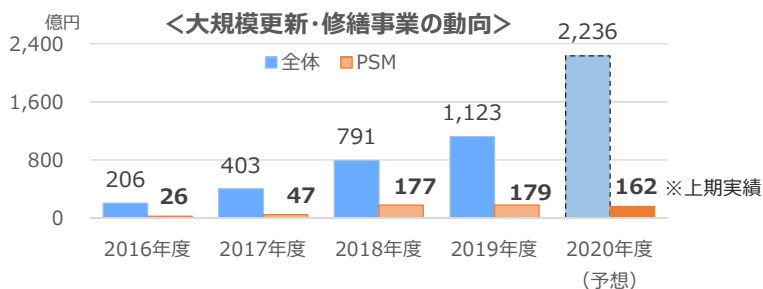


20

主要テーマの進捗状況

大規模更新・修繕工事を主力事業として発展・成長させる

- NEXCO3社からの大規模更新・修繕事業は年々増加し、東北地方でも案件を受注
 - 工事大型化への対応として営業情報等を土木本部に一元管理し、全体最適の取組みを実施
 - 床版取替工事の設計において開発中の自動製図システムを2件の工事に活用等、IT化を推進



中国自動車道大谷橋他2橋床版取替工事 (発注者：NEXCO西日本)

- 中国自動車道では、2014年度から現在までの受注総額455億円の約45% (204億円) を施工
 - 当社独自工法「半断面床版取替工法」[MuSSL工法] 「フルキャスト壁高欄」が採用

工事名	工期
四十八瀬川橋他1橋工事	20/5-23/6
常国橋他2橋工事	17/5-21/7
上萩原橋他8橋工事	20/8-24/9
国兼川橋他2橋工事	18/10-21/4
成羽川橋他2橋工事	20/3-23/4
大谷橋他2橋工事	18/10-22/5



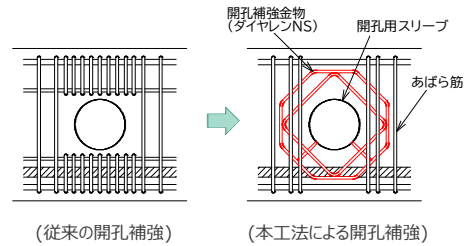
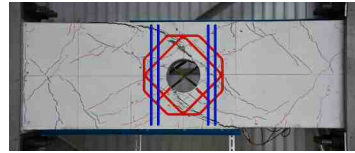
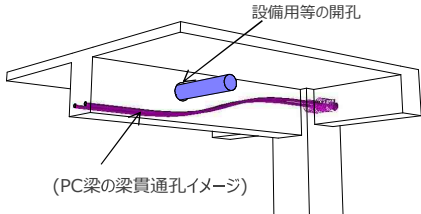
主要テーマの進捗状況

PC技術を核とした元請けおよび設計施工案件の取り組みを強化する

- PC建築の市場拡大に向け、新工法（技術）を開発
- プレストレストコンクリート梁の開孔補強工法「ダイヤレンPC工法」は、技術認定を取得
- 構造設計、設備設計要員を増員して、提案力を強化

ダイヤレンPC工法【概略】

- ・開孔口周辺に開孔補強金物およびあばら筋を配置
- ・構造検討、配筋・施工の簡素化・合理化を図る



エリアのマーケットを見極め、要員を機動的にシフトすることで受注の強化

- 20年4月より札幌営業所を支店化、受注は堅調に推移
- 北海道新幹線の延伸事業、港湾施設整備へ期待
- 要員配置システムにより現状および予定を可視化・共有し、効率的な配置を実施



出典：ファイターズ スポーツ&エンターテインメントWebサイト

22

主要テーマの進捗状況

ICTの活用を推進し生産性を向上させる

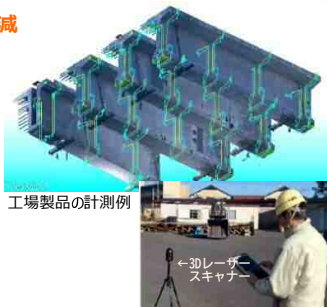
- PSMAX推進委員会の取組み
 - 土木・建築の個々の技術を集約して独自性の高い「自動化技術」を開発し、生産性の高い高度な建設システムの構築を目指した組織「PSMAX推進委員会」を発足



測量に要する技術者を削減

2・3人 → 1人

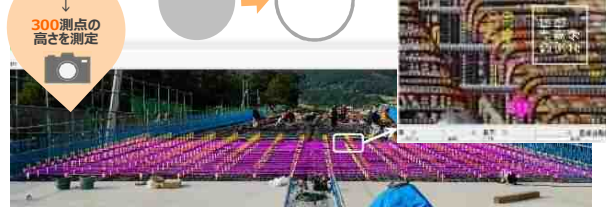
- レーザースカナー計測
 - 点群データ処理
 - 自動調査作成 ※
 - BIM・CIMデータ互換 ※
- ※まもなく完成予定



3Dレーザースカナーを用いた自動計測

測量に要する時間を大幅に短縮

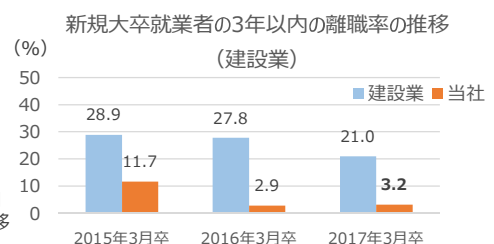
1ショット
↓
300測点の高さを測定
100分 → 15分



多様な人材の確保・育成を行い職場環境を活性化し、各人の能力向上を図る

- 人材確保・新たな研修の取組み
 - 定期採用・中途採用共に計画通りに進捗、海外事業の拡大に向け現地および国内外外国人採用の推進
 - With/Afterコロナへの対応として、Web等を活用した採用活動および研修を実施
 - 働き方改革の推進等により職場環境を向上し離職率を改善

出典：厚生労働省HP
新規大卒就職者の産業分類別
就職後3年以内の離職率の推移
(当社実績を追記)



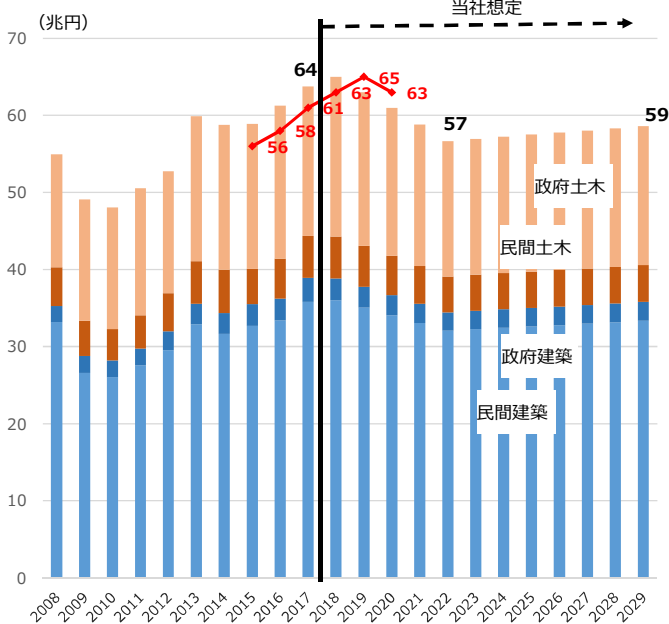
23

Appendix. 会社概要

今後の事業環境の見通し

建設市場の推移（中期経営計画2019策定時）

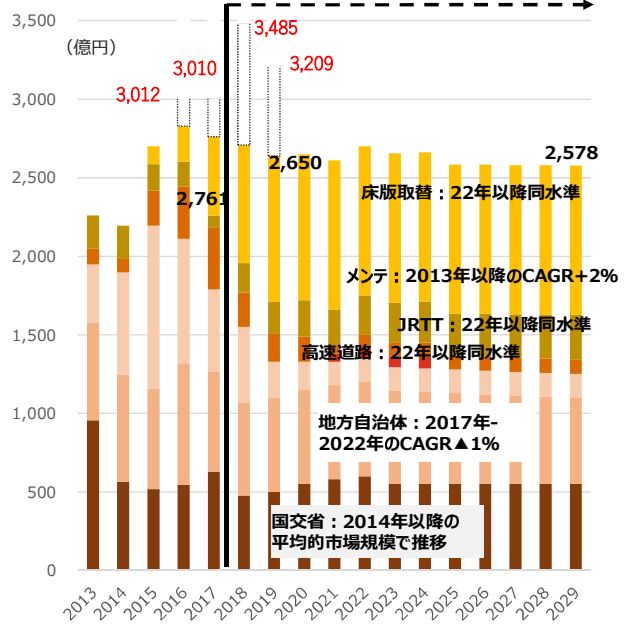
- 建設市場全体（土木・建築）では、2022年に57兆円に減少し、GDP予測から59兆円規模へ微増と想定



※「GDP予測」×「建設投資/GDP比率の予測」から建設投資額を試算。建設投資額は「民間建築の維持修繕市場」を含んでいないため、当該金額を加算したものを「建設市場」とした
 ※赤字「令和2年度建設投資見通し 国土交通省」10月度版
 ※2017年度確定値、18、19年度見込み、20年度見直し

PC土木市場の推移（中期経営計画2019策定時）

- PC土木市場は、新設橋梁の減少とともに維持・補修事業が本格化と想定



※赤字はPC建協発表のPC市場の実績値（建築含む）

プレストレストコンクリート (PC) 技術とプレキャスト (PCa)技術とは

プレストレストコンクリート (PC) とは

PCは「あらかじめ (プレ) 応力 (ストレス) を与えられたコンクリート」のことです

- コンクリートの最大の弱点 (引張には弱い) を克服することができます
- 圧縮する力を与えることで、大きな引っ張る力が作用してもひび割れを制御することができます
- 上記により、柱や梁を細くしたり空間の距離を大きく取ることができます



プレキャスト (PCa) とは

高強度のコンクリートを使用し、あらかじめ工場で製作したコンクリート部材です

- 工場で生産されるので、高品質・高精度で、高耐久を有しております
- 現場で型枠を組み施工した場合より周辺の環境に優しい工法です
- 工場で部材を製作する為、現場作業の省力化・スピード化が図れます



グループネットワーク

ピーエス三菱グループ (主要国内5社)

株式会社ピーエス三菱
P.S.Mitsubishi Construction Co., Ltd.

支店

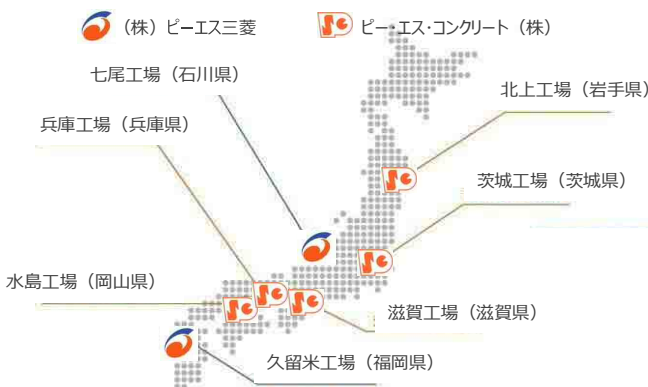
- ・東京土木支店
- ・東京建築支店
- ・札幌支店
- ・東北支店
- ・大阪支店
- ・名古屋支店
- ・広島支店
- ・九州支店

営業所

- ・28箇所

株式会社ピーエスケー		PC工事における機材の企画・設計・製作・賃貸・販売、資材の製造・販売およびこれらの運用・活用に関するエンジニアリング
株式会社ニューテック康和		道路・鉄道・港湾等の構造物のメンテナンス、リニューアル
ピー・エス・コンクリート株式会社		PC製品の製造販売
菱建商事株式会社		建築資材販売、物流、不動産関連など
菱建基礎株式会社		土木・建築構造物の基礎工事など地下分野の総合専門工事

国内工場ネットワーク

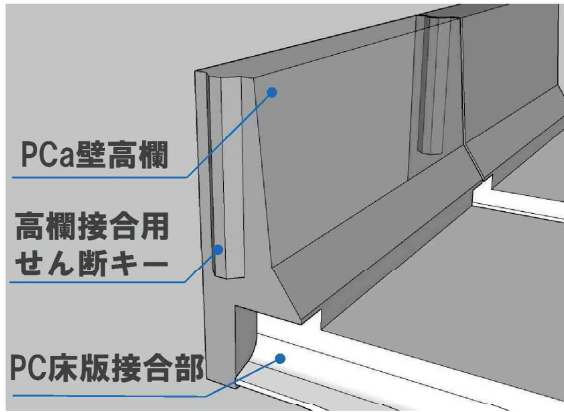


海外ネットワーク

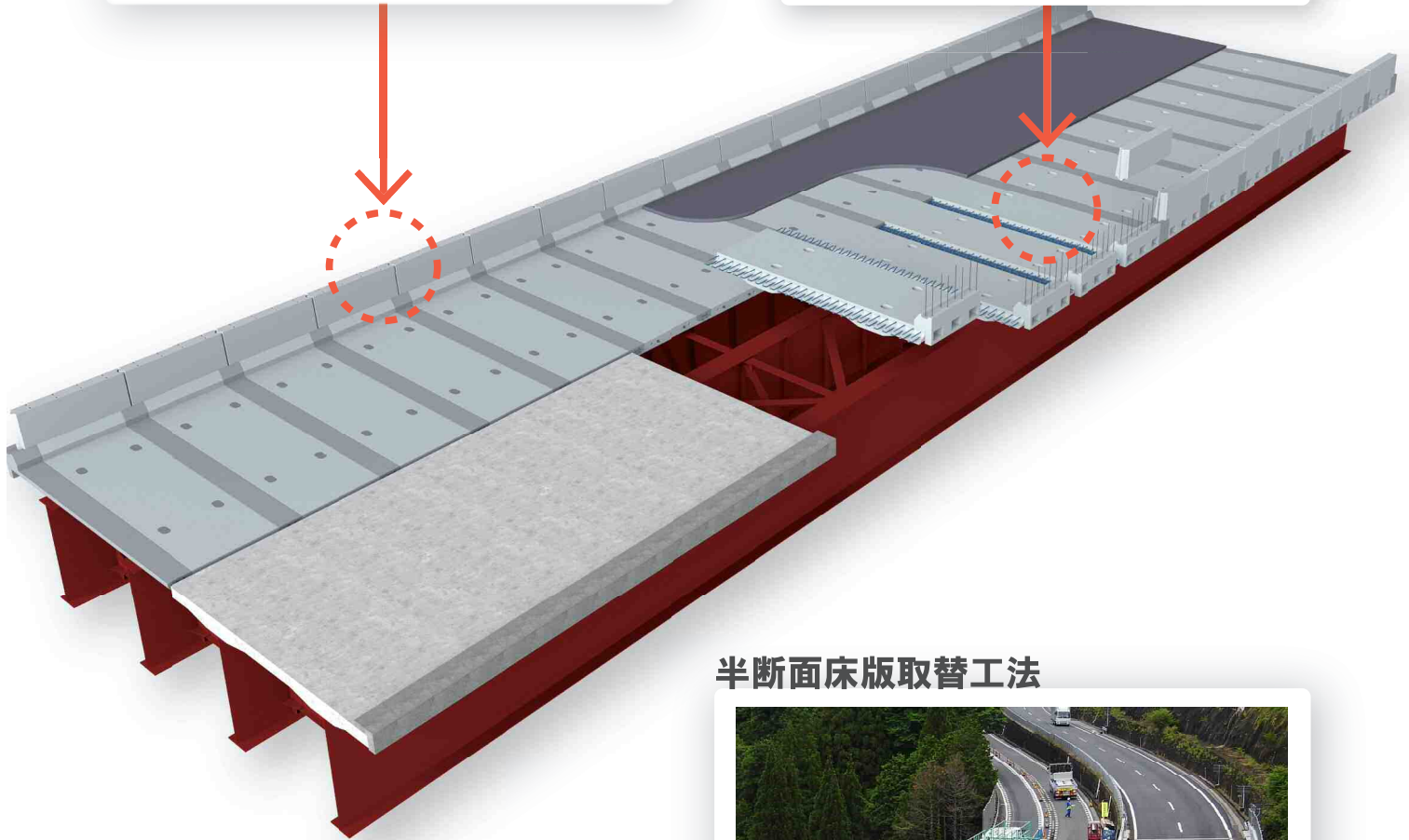


ピーエス三菱の床版取替技術

フルキャスト壁高欄



MuSSL工法



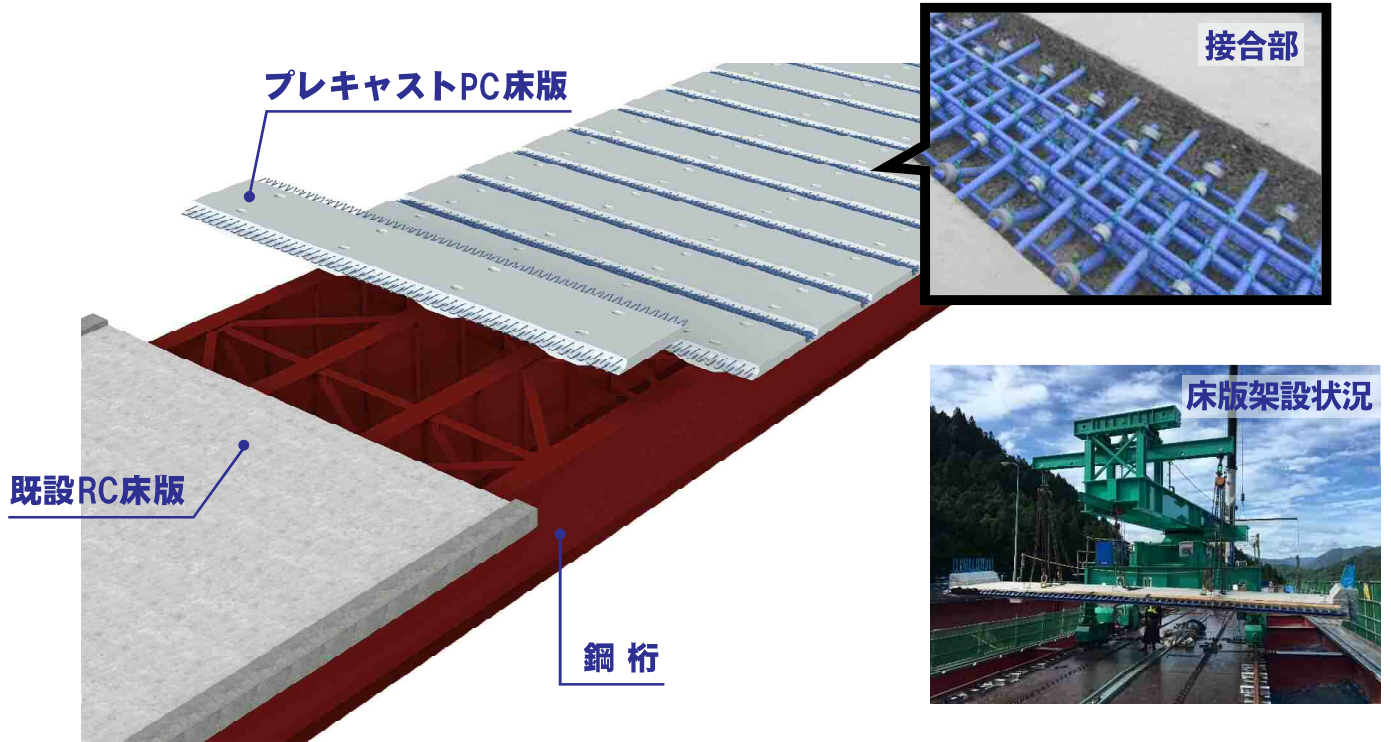
半断面床版取替工法



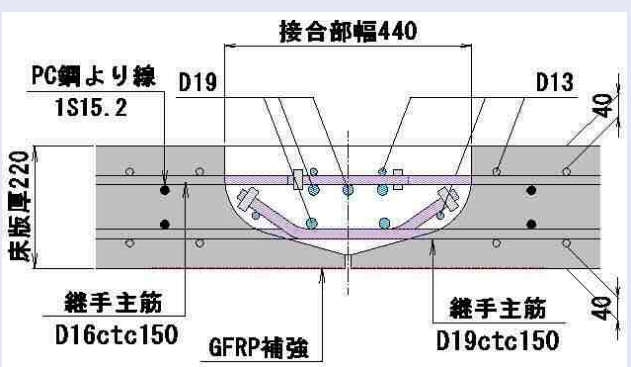
MuSSL工法

生産性向上を目指したプレキャストPC床版の高耐久性継手構造

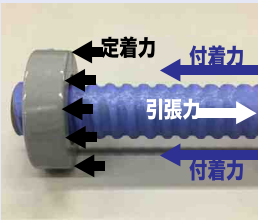
MuSSL工法は、あご付きタイプのプレキャストPC床版に適用可能な継手工法です。接合部は2m毎に配置され、その施工は狭隘な版下空間での人力作業を必要とします。接合部の底型枠が不要な本工法は、安全性と生産性の向上に有効です。



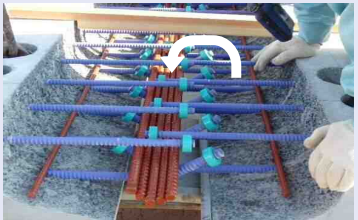
継手構造



定着構造

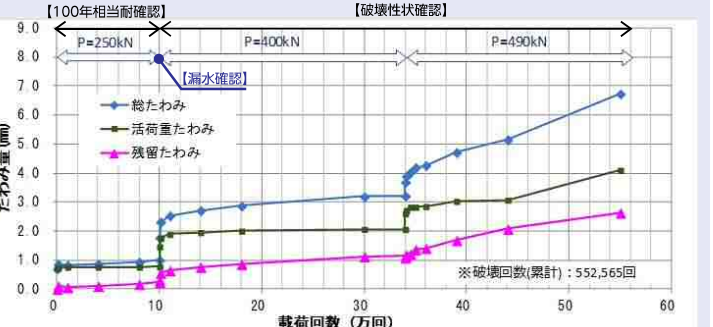


接合部鉄筋の組立

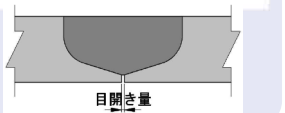


高付着型エポキシ樹脂塗装鉄筋 PCa版架設途中で横方向筋が移設できます 円形ナット (FCD450-10)

疲労耐久性



- ・250kN載荷時の目開き量は0.05mm以下
- ・6時間の水張り下面への漏水無し
- ・PC版部の押抜きで破壊 (継手部で破壊せず)

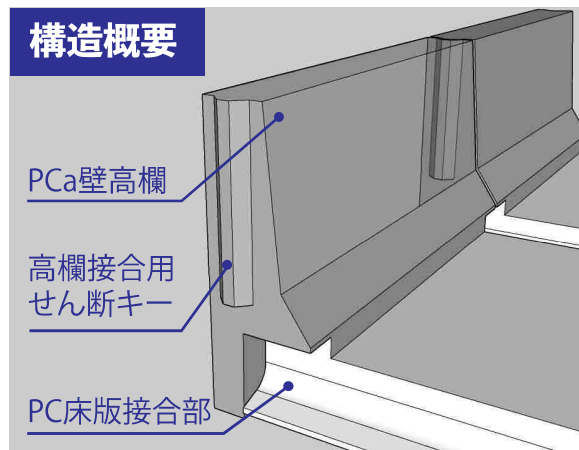


フルキャスト壁高欄

床版取替工事の急速化を実現する床版同時架設タイプのプレキャスト壁高欄

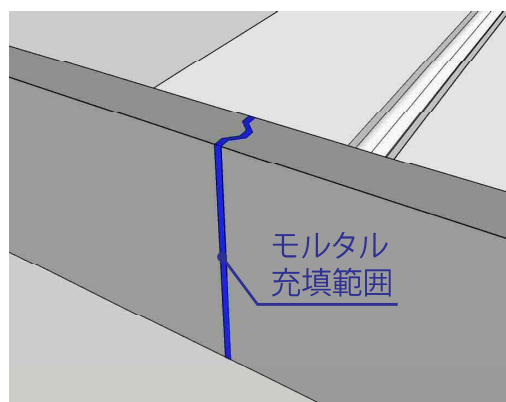
床版取替工事では、床版そのものの施工はもとより、道路両端に設置される壁高欄の施工についても工期短縮が求められております。本壁高欄は、現場での施工を極限まで省力化した「プレキャスト(PCa)壁高欄」です。

構造概要



- 1 PC床版の架設前に壁高欄を構築
- 2 高欄接合部はせん断キーのみで接合

本 PCa 壁高欄は、PC床版にあらかじめ壁高欄を構築して架設することで、現場での壁高欄施工を極限まで省力化できる工法です。高欄接合部はせん断キーを用いて荷重を伝達する構造とし、架設後に目地部にモルタルを充填することで接合が完了します。



高欄接合部のモルタル充填範囲

施工手順

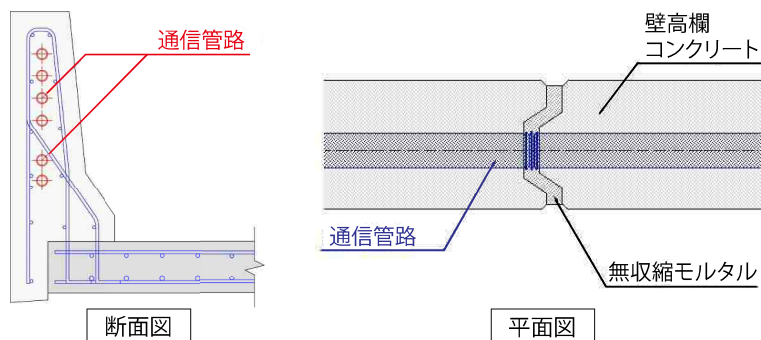
PC床版の製作

PCa壁高欄の製作

現場への運搬および架設

高欄接合部にモルタル充填

施工完了



通信管路の設置に配慮したせん断キー形状

衝突試験 実施状況



衝突試験状況



衝突試験体全景

知られざる PCaPC 建築の世界 仕事に向き合い 自らを高める職場

独自の強みを持ち、社員が成長できる会社——
それが、ピーエス三菱の魅力だ。独自の強みとは、
強度を高めた「プレストレストコンクリート(PC)」の先駆者、
PCゼネコンであるという点。
それを「プレキャストコンクリート(PCa)」という工場生産の部材
として用いるPCaPC工法は省力化を図れることから、
人手不足のいま市場には追い風が吹くという。
そのPCゼネコンの現場は
社員をどのように成長させてくれるのか——。



国際医療福祉大学大川キャンパスの施工に携わる面々。写真左から、丸本真也氏(設計担当)、鈴木英俊氏(工事主任)、佐藤一海氏(設備担当)、田村定晴氏(PC工事担当)、中野晴之副所長、上田哲生所長、犬飼充史氏(設計担当)、溝上豪氏(PC工事担当)、田中敏幸副所長(PC工事担当)、平山敬大(工事担当)

PCゼネコンの現場を見ようと、国際医療福祉大学大川キャンパスを訪ねた。ピーエス三菱が設計・施工を担うのは、薬学部校舎。延べ床面積1万㎡を超える規模ながら施工期間は1年と短い。

着工は2019年3月。完成は2020年4月開校に間に合わせる。作業所長を務める上田哲生氏は、「当社が選定された最大の理由は、短工期で仕上げられる点です。それこそ、PCaPC工法の魅力の一つです」と胸を張る。

PCもPCaも学生にとってはなじみのない存在。しかしだからこそ、そこに新鮮味を覚えるのかもしれない。実際、PCaPC工法に関心を抱き、エントリーや入社を決めた若手は少なくない。

2016年入社で施工管理の一端を担う溝上豪氏は、「会社説明会後の面談でPCゼネコンという特徴を知り、興味を持ちました」と振り返る。入社後は、長崎や沖縄の現場でPC工事を担当してきた。「躯体が建ち上がって建物の全体像が見え始めると、その姿に仕事のやりがいを感じます」。

建築のプロも信頼置く 継続受注のPCゼネコン

2018年入社で設計志望の田村定晴氏も、同じようにPC技術に引かれて入社を決めた一人だ。「この現場で納まりを学んで、会社から設計業務を任せられるまでに成長したいですね」。

PC技術が会社の強みになっているという点は、入社後、経験を重ねるうちに自ずと感じるようになるという。1993年入社で施工管理を担当する田中敏幸氏はこう誇らしげに話す。

「業界全体では中堅ですが、PCゼネコンとしてはトップクラスの会社です。当社グループの工場群がもつ品質管理の高さも、PC技術の根幹を支えています。」



国際医療福祉大学大川キャンパス完成予想図

2002年入社で同じく施工管理を担当する中野晴之氏も、PCゼネコンとしての強みに誇りを持つ。「PC技術を持つことで、大型案件の設計・施工でも声が掛かるのがうれしい」。

とはいえ、PCゼネコンという会社の強みに安住することはない。それは、同じ発注者から継続して受注する案件が多い点にも表れている。

例えばこの現場も、そうだ。発注者である学校法人国際医療福祉大学からは、千葉県成田キャンパスや神奈川県小田原キャンパスなど複数の大学施設で設計・施工の案件を受注している。

2002年入社で設計担当の犬飼充史氏は「上司は仕事に臨む姿勢が厳しく妥協を嫌います。当初はついていくのに必死でした。ただ、そうしたシビアな姿勢が継続受注につながっていることを実感します」と明かす。

その上司は、1992年入社で企画設計担当を兼ねる丸本真也氏。後輩や新人にこう言葉をかける。

仕事は精一杯やり切り 職場で自らを磨き上げる

「どんな人間かまでは深くは知らない相手に数億円もの予算で設計・施工を任

せてもらえる以上、能力以上の力を発揮しないとはいけません。ただ、それを達成できれば、建物を向こう数十年、大事に使ってもらえる。そんな経験を味わえる仕事は世間にはそうありません」

一つひとつの仕事を精一杯やり切ること、自らの血肉になる。

施工管理を担当する鈴木英俊氏は2006年入社。現場経験を重ねながら、平面図を基に工程を組み立て、納まりをイメージする力を培ってきた。作業所長の上田氏は「平面図を見ただけでパースを想像し、色やテクスチャーまで思い浮かべる力がある」と評価する。

その鈴木氏がやはり、精一杯の姿勢を強調する。「経験を重ねるだけでは成長できません。常に真剣な姿勢で場数を踏んでいくことが大事です」。

失敗はあっていい。糧にもなる。

2017年入社で施工管理の一端を担う平山敬大氏はミキサー車を手配し忘れ、打設当日に生コン工場に必死に掛け合い、事なきを得たことがある。以降、段取りが途絶えることがないように日々の業務に励んでいる。

若手からベテランまで仕事に真剣に向き合える職場。自らを磨き上げ、将来を切り開くのに格好な場が、そこにある。

【会社情報】

資本金 42億1850万円
売上高 1102億7900万円
(2019年3月期、連結)
社員数 1700名(2019年3月現在、連結)
創業 1952年
事業内容
①プレストレストコンクリート工事の請負ならびに企画、設計、施工監理
②建築一式工事、土木一式工事の請負ならびに企画、設計、施工監理
③土木建築構造物の維持、補修に関する事業 他

【採用情報】

採用職種 総合職
【技術系】建築・土木施工管理、設計および技術開発、建築設備など
【事務系】総務、経理、事務管理、営業など
採用実績大学 全国の国立私立大学・大学院および高等専門学校
採用実績学科
【技術系】建築、土木、機械、電機、環境工学、材料系学科 他
【事務系】学部・学科問わず
勤務地 全国および海外(転勤あり)
2019年採用実績 36名
2020年採用予定数 40名
初任給
修士了 260,000円(予定)
学部卒 240,000円(予定)
高専卒 220,000円(予定)

【問い合わせ先】

株式会社ピーエス三菱
部署名 人事部採用・研修グループ採用担当
住所 〒104-8215
東京都中央区晴海 2-5-24
電話番号 03-6385-8003(採用担当)
URL <https://www.psmic.co.jp/>
E-mail psmsaiyou@psmic.co.jp



2019-2020年度選定

将来予測に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保障するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社ピーエス三菱 管理本部 総務部 広報・IRグループ
〒104-8215 東京都中央区晴海二丁目5番24号 晴海センタービル
TEL : 03-6385-8002 FAX : 03-3536-6927 メールアドレス : koho.ir@psmic.co.jp